

頸椎修正枕「NEW けんこう」

この枕は頸椎の生理湾曲を正しくし、脊椎全体の椎間板を回復させる為の枕です。
この枕を正しく使用する事で、上向きに寝ているだけで頸椎の生理湾曲が少しずつ、正しくなります。
頸椎の生理湾曲が正しくなると、下記の不快な諸症状を緩和または無くすることが期待出来ます。

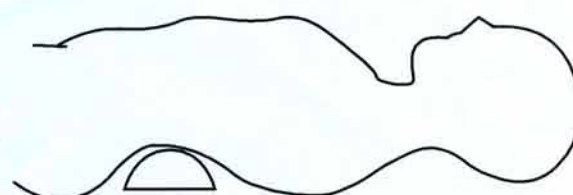
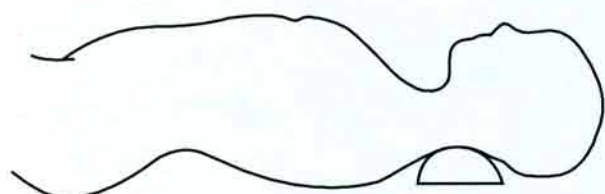
「使い方」

上向きに寝て、肩と後頭部との間の首に枕を当てます。位置的にじっくり来る場所を探して下さい。
首に枕を当てると頭部が床より浮きます。これが、正常な使い方です。

寝た時に、頭の後ろが床から浮いていないとこの枕の目的が達せられません。

この枕は頭が浮いている事が大切で、頭部の自然な重みが、脊椎全体を牽引し、昼間圧迫していた頸椎を初めとする脊椎全体の椎間板を圧迫から解放し、回復を促します。

この枕を腰に当てて寝る方もおられます。腰が楽になり、ストレッチ効果も期待できます。
勿論この場合も、痛みや他の症状が出る場合はすぐにお止め下さい。



『けんこう』使用例 首の場合

『けんこう』使用例 腰の場合

「特徴」

弊社従来品との違いはおよそ5cm短くしたことです。それでも、横向きに寝返りの際に頭が外れる事はありませんが、短いと感じたときは枕より大きめにバスタオルをたたんで被せて下さい。
こうする事により、短さを補えると共に、軽さをカバーし、安定して動き難くなります。
大きさの目安は横幅が左右共に10cm程短い位で、上下は共に5cm程度が適当です。
5cm短くした理由は、この枕を使用した方の多くが別の枕では眠れなくなり、マイ枕として旅行の時にも持参されることからです。もう少し短いと楽に旅行鞆に入れられるに…と言う声が多くあり、それにお答えする為に考案されました。

別の枕を使うと、肩が凝ったり、疲れたり、寝付けない等の状況が発生するので、自分の枕を持って旅行に行きます、と皆さんが言われます。

(裏面に続きます)

※ 注1 もし、枕をしていて、痛みや痺れなどの症状を感じたら、頸椎に異常がある証拠です。その場合は決して我慢したりせずに横向きに寝るか、一旦外して、痛みや痺れがなくなるまで、休みます。横向きの場合は通常の枕と同様の使い方をして下さい。頸椎が正常な生理湾曲を作ると全く痛みや痺れがなくなります。

人により、あまり気持ち良く寝すぎて、長時間寝返りを打たない為に痺れがでる方が居られますが、この場合は心配ありません。暫くすれば症状はなくなります。それ程、よく眠れたと言う事なのです。

頸椎の異常による諸症状の例（自然形体療法より）

むち打ち症、側湾症、アレルギー性疾患、アトピー性疾患、椎間板ヘルニア、椎間板損傷、内臓不調、慢性疲労、頭痛、肩こり、首こり、全身倦怠、手足の痺れ

尚、この枕は医療器具ではありませんので、医療効果を保証するものではありません。使い方は自分にあった方法でお使い下さい。

「NEW けんこう」は従来品からのバージョンUPとして、芯材にソフトなウレタンを巻きつけ、より使い心地がよくなりました。

さらに、外カバーには 100%コットンのスムーズニットを使用することで吸汗性が飛躍的に良くなり肌触りも良くなることにより長時間の使用も快適にお使い頂けるようになりました。